奈良市観光協会
Nara City Tourism Association

PRESS RELEASE

令和 8 年 10 月 9 日
公益社団法人 奈良市観光協会

第 4 回 世界遺産「古都奈良の文化財」シンポジウム開催

なぜ奈良は『シルクロードの終着地』と呼ばれるのか
専門家と六社寺代表が読み解く「世界遺産と東西文化交流」

公益社団法人 奈良市観光協会（所在地：奈良市三条本町　会長：増尾 朗）は、2026 年 11 月 28 日（土）、なら 100 年会館にて第 4 回 世界遺産「古都奈良の文化財」シンポジウムを開催します。今回のテーマは、**「シルクロードの終着地・奈良 －世界遺産が伝える文化交流の軌跡－」**です。

奈良時代には、中国や朝鮮半島はもとより、中央アジアやさらに西方から文化や技術、思想が伝えられ、奈良独自の文化として育まれてきました。シンポジウムでは、奈良国立博物館学芸部長の吉澤 悟 氏による基調講演に加え、「古都奈良の文化財」を構成する六社寺の代表者が登壇。それぞれの社寺に伝わる文化財や歴史を手がかりに、シルクロードを通じて奈良へ伝わった文化とは何だったのか、そしてそれが今日までどのように受け継がれてきたのかを読み解きます。世界遺産を「見る」だけでなく、その背後にある壮大な人と文化の交流に触れていただける機会です。奈良の歴史や文化に詳しい方はもちろん、これまで世界遺産にあまり馴染みのなかった方にも楽しんでいただける内容です。

本シンポジウムは、世界遺産「古都奈良の文化財」が登録 25 周年を迎えた 2023 年を機にスタートし、今回で開催 4 回目を迎えます。

【日　時】2026 年 11 月 28 日（土）13:30～16:30（開場 13:00）
【会　場】なら 100 年会館　中ホール（奈良市三条宮前町 7-1）
【参加費】無料・事前申し込みが必要です
【定　員】約 400 名（申込多数の場合は抽選）
【プログラム内容】

第一部　基調講演：13:45～14:45

「シルクロードの終着地・奈良－世界遺産が伝える文化交流の軌跡－」
講演者 吉澤 悟氏（奈良国立博物館 学芸部長）

第二部：15:00～16:30

考古･文化財のスペシャリストと六社寺代表が､世界遺産が紡ぐ奈良の東西交流史について語ります。

登壇者：吉澤 悟 氏、
東 大 寺：上司 永照 執事長　　興 福 寺：夛川 良俊 副貫首
春日大社：中野 和正 権禰宜　　元 興 寺：辻村 泰道 副住職
薬 師 寺：松久保 伽秀 執事長　　唐招提寺：松浦 俊昭 執事長
※都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

【お申し込み方法】

Google フォーム（右記二次元コードから）または往復ハガキにてお申し込みください。
往復ハガキの場合は参加者全員の氏名・代表者の住所・電話番号をご記入の上、下記までお申し込みください（1 枚につき 2 名まで）。

宛先：〒630-8122 奈良市三条本町 8-1 シルキア奈良 2 階
奈良市観光協会シンポジウム係

応募締切：2026 年 11 月 12 日（木）【必着】

【注意事項】

参加者には、受付メールまたは返信ハガキ（往復ハガキ申込者）を送付します。
当日はメールまたはハガキを持参してください。
応募に際し当協会が取得した個人情報は参加申し込みに関する連絡、受付以外には使用いたしません。また、応募者本人の同意がなければ第三者に提供することはありません。

＜本件に関するお問い合わせ先＞ 公益社団法人 奈良市観光協会 地域事業課 西川（にしかわ）
住所：〒630-8122 奈良市三条本町 8-1 シルキア奈良 2 階／URL: https://narashikanko.or.jp/
Tel: 0742-30-0230　Email: chiiki@narashikanko.or.jp

第 3 回世界遺産「古都奈良の文化財」シンポジウムの様子　奈良春日野国際フォーラム　甍～I・RA・KA～にて